



秋の一碧湖/下村俊宏・画

Ito West R.C. Weekly

R.I. 第2620地区 静岡第1グループ



伊東西

会長 増田真啓 副会長 葛城武典
幹事 土屋順史

例会場 伊東市竹の内1-3-16 暖香園ポウル2F
例会日 毎週(金曜日) TEL 0557-37-1512
事務所 伊東市竹の内1-3-16 暖香園ポウル内
TEL・FAX 0557-37-0036
ホームページ <http://itowest.rcy.jp>

出席報告

	会員数	出席規定 該当者	出席者	欠席者	M. U	出席率
本日	46	43	35	8		76.08%

THE MAGIC OF ROTARY

2024～2025年度 R.I. 会長 ステファニー・A.アーチック
第2620地区ガバナー 小泉久司

2024.8.30 第2134回例会 No.2134

会長挨拶

ロータリー歴が20年ということで、20年前って何があったのだろうと思って調べてみました。きっとみなさんも記憶に残っている出来事のひとつは近鉄バッファローズが身売りに出たのに対して、ホリエモンこと堀江貴文さんが近鉄バッファローズに買収の提案をしたことだと思います。当時、リーグの衰退をどのように受け止めるかは人それぞれだったと思いますが、自分は人口減少による衰退現象のひとつだと解釈していましたし、近鉄バッファローズなんて関西の大企業近鉄が何十年も経営して黒字にできなかったものをホリエモンは一体どうするんだろうと考えていました。そう考えていた人は少なくなかったようで、別の球団オーナーがホリエモンに言ったんです。「お前、赤字が続いても大丈夫なのか？」これに対して「赤字になんてなるかなあ」とホリエモンが応えたのでビックリしたのを思い出します。さて、それから20年たって何が起きたのでしょうか？セパ両リーグ12球団が観客動員数をガンガン伸ばし、グッズの売り上げもガンガン増やし、今はみんな黒字になっている訳です。一昨日、横浜ベイスターズ対阪神タイガースの試合、「ただでVIP席で



観戦できるからおいでよ」と言われて出かけてきました。平日ですが、スタンドはほぼ満席。興味津々のVIPルームってどこにあるんだろうと思ったら、バックスタンド裏にビルを建ててあるんです。その中に観戦用テラス付き豪華リビング10坪の部屋が50室くらいありました。15人くらい入れるVIPルームで年間で2000万円、1試合30万円だそうです。数えてみると50室くらいあるんですが、僕が見たところ一昨日の空室は1室か2室。大盛況でした。20年間、インターネットの普及で大きく変わった業界はたくさんあると思いますが、大きく変わった業界のひとつはプロ野球で間違いないでしょう。少子化にかこつけて悲観論を考えていた自分が恥ずかしくなる体験でした。プロ野球を見に行くと時代の変化を感じられます。是非、最前の球団を応援しに出かけてみてください。

本日の欠席者

遠藤英夫君 東端克博君 佐藤周君 田坂和央君
稲葉憲一君 佐藤広一君 立木泰君 飯田法弘君

ゲスト

肥田雅雄さん



四つのテスト
言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か

3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

幹事報告

- 先日8月26日(月)18:00より、野村商店様会議室にてIM実行委員会が行われました。先日、小川実行委員長のほうで紹介がありました記念講演師の足達さんも見えて打合せさせていただきました。また、IM以外にも合同奉仕作業の話し合いも行われました。次回は、9月19日(木)18:00より野村商店様会議室にて行います。
- 伊東西RCの事務局員さんの募集を行います。
- メンバーポストに地区大会のご案内。



委員会報告

- 台湾旅行結団式



スマイルボックス

- 増田 真啓君 本日は、肥田さんにゲスト出席していただきました。ありがとうございます。
- 工藤 雅司君 山本先生卓話ががんばって下さい。楽しみにしています。
- 石井 幸弘君 一昨日聖路加病院の帰りドクターと食事して、新幹線に乗って帰ろうと思ったら、新横浜で静岡～掛川間の豪雨の為2時間とじこめられました。
- 稲葉 雅之君 明後日から月曜まで、横浜でガバナーエレクトの研修に出席します。やせ細って帰ってきます。ポッチャ杉村君の戦いが白星スタートしました。パリへ、皆様の思いを送って下さい。

卓話

担当 山本佳洋君

私のプロフィールと専門分野

今回で卓話も3回目になります。1回目は伊東

市医師会長になり3年目で、医師会の仕事について話をしました。2回目は、新型コロナウイルス感染のパンデミックまっただ中、2021年にコロナワクチン接種が始まったときに各種ワクチンの種類について話をしました。3回目に私の紹介と今まで私のやってきた仕事について少し話したいと思います。1959年12月26日伊東市宇佐美で生まれ、その後葦山高校に入るが、往復3時間以上かけて通学。何のすることもなく、将来の展望もなく杏林大学医学部に入学。医学部の授業料は今よりも安かったですが、やはり留年はできず、また医師国家試験もあるために、まあまあ普通に大学生活を送りました。大学6年のときにはそろそろ就職活動を行うことになり、大学の医局に残ろうか、外部に出ようか迷ったが、友達の誘いもあり東京警察病院を受験しました。その頃、東京警察病院は千代田区飯田橋駅歩いて2分、東大の3大病院として有名で受験者数も多かったが、運良く合格した。当時はバブル絶頂期で、製薬会社の接待も多く、青山六本木へ1週間にいっぺんぐらいは繰り出していました。その後上司の誘いもあり、消化器を先行することになりました。仕事をやってみると非常に面白く、その頃はまだ黎明期であった消化管運動に没頭しました。毎日、夜の10時ぐらいまで同僚と臨床や研究を行い、行きつけの居酒屋で愚痴を言いながら酒を飲むのが日課になっていました。そのため論文数も多くなり、杏林大学第3内科に博士論文を持ち込み博士号も取り、1995年からアメリカへ留学。留学中は毎週ゴルフ、家族旅行でアメリカ中旅行しましたが、折しもバブル崩壊後の円高で1ドル85円、1997年帰国時には122円だったので、留学中の滞在費や旅行代などは幸運にもただ同然でした。1999年10月に開業。その後は2011年に民主党政権に嫌気がさし、東日本大震災後の日経平均8500円の時に株投資をはじめています。こう考えて見ると節目節目を見事に利用した感じがある。プロフィールでいっぱいになってしまいましたが、今回は皆さんも今よく知っている胃内視鏡検査の歴史やその検査の実際をお話します。



(担当 齊藤 洋)

プログラム予定

9月6日(金) 広報・雑誌フォーラム 節約例会 服装自由
9月13日(金) 夜間例会 点鐘は18:30 服装自由